

うりみ 評寸よ

新型コロナ対策の一斉休校が明けたとき、ランドセルを背負った少女は弾むように自宅の

玄関を出て行ったという。級友との再会を心待ちにしていたのだろう。それを思うとなおさら胸が痛む◆いじめを訴える遺書を残し、東京都町田市の小学6年生の女兒が自殺してから間もなく1年になる。昨年度、いじめの被害者で自ら命を絶った小中高生は文部科学省の集計で12人に上った◆最悪の事態に至る前に適切な手が打たれていれば

…同じ悔いがいつまで繰り返されるのだろうか◆石隈利紀・東京成徳大学教授（学校心理学）は高校生向けに「助けられ上手入門」という講義を行ってきた。

躊躇なくSOSを出せるよう子供に「発信する力」を育む狙いだが、「相談してもどうせ解決しない」との声を聞くうちに、大人の「受信する力」も大切と思うようになったという◆子供の小さな異変に気づくとする。「どうしたの?」と聞いて「別に」と言われても、問いかけをやめてはいけない。何度も繰り返す。石隈教授の助言である。